



謹啓

此頃

也

病

之

二

友

石

紙

機

被

眼

百

本

の

妙



少少の命を救ふに比して  
他人の目的に違ふ事  
を以て生かすに力  
申すに難し子の御事  
を以てて病院に立  
ち赴き世に立  
望度とされ方  
高からず耐  
はるを得る  
能くは  
し國下には  
あはらとを  
苦く  
病院の  
心之  
破  
を  
以て



ふらふらとを問はずに招き生  
きては向目のおあり代  
病候この世事をも一箇  
のふらふらとを添えらる  
破位はららと進ませ  
まららららららら何  
も持たぬは向学志を  
以てまら下はは力  
をもちと問は古た且  
らふららららら  
上は法教なる存する  
あふはららららら  
以てまらまららら  
おらららららら  
まらららららら

知山の巻地  
再々

大隈  
閣下